

2025—(A)

▼ 日本史問題

15:00～16:00 (60分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
2. 日本史の試験用紙は、問題用紙1部(12ページ)、マーク式解答用紙1枚から構成されています。過不足があれば監督者に申し出てください。
3. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
4. 監督者の指示に従って、マーク式解答用紙の受験番号の記入欄に受験番号を1カ所記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。また、氏名欄に氏名を1カ所記入してください。
5. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBで0.5mm以上の芯のシャープペンシルで記入してください。
6. 解答用紙は丁寧に取り扱いってください。
(マーク式解答用紙は折り曲げたり、破ったり、汚したりしないよう、特に注意してください。)
7. 解答は解答用紙の各問指定の枠内に記入してください。解答用紙の裏面にはいっさい記入してはいけません。下書きなどには問題用紙の余白を利用してください。
8. 解答中以外の解答用紙は必ず裏返しに置いてください。
9. 受験中は不審な行動をとってはいけません。不正行為があれば当該年度の全入学試験を無効とします。
10. 試験時間の途中で退場することはできません。
ただし、気分が悪いなど身体の調子が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
11. 試験終了の合図と同時に解答をやめてください。
12. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

マーク式解答用紙の記入上の注意

1. 受験番号の記入方法

受験番号は受験番号欄にアラビア数字で記入のうえ、受験番号マーク欄に下の例に示すようにマークしてください。

〔例〕受験番号が00012番のときは、

受 験 番 号					
P	0	0	0	/	2
	万位	千位	百位	十位	一位
	0	0	0	0	0
	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②
	③	③	③	③	③
	④	④	④	④	④
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

2. マークの記入方法

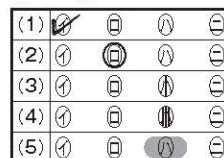
次に示す㉔「正しい例」のようにマークし、㉕「悪い例」のようにマークしてはいけません。

㉔ 正しい例



例えばロと解答したい場合、
㉔のマーク枠の中を完全に
ぬりつぶしてください。

㉕ 悪い例



✓印をつける

○印でかこむ

線を引く

ぬりつぶしが不完全

範囲をおおきくこえる

このような
マークをし
てはいけま
せん。

3. 一度記入したマークを訂正する場合、消しゴムで完全に消してからマークしなおしてください。



左図のように×印をつけても
消したことはありません。

4. 正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。

解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい

〔 I 〕 次の 1～10の文章について、a・bとも正しい場合はアを、aが正しくbが誤っている場合はイを、aが誤りでbが正しい場合はウを、a・bともに誤っている場合はエをマークしなさい。

1. a. 吉備や毛野には200 m を超える長さの前方後方墳が築かれており、この地方に前方後円墳を築いたヤマト政権と敵対する有力な勢力があったことが推測される。
b. 形象埴輪は堅穴式石室内に多くみられ、地下の奥深くに死者が生活する世界があるという考えを反映している。
2. a. 最初の使節派遣で送られた倭国からの隋への国書が煬帝に無礼とされたために、隋から使者が送られず、遣隋使の派遣も以後、行われなかった。
b. 隋、唐で学んだ高向玄理、旻、南淵請安は、大化の改新において国博士に任じられ、中大兄皇子らの諮問に応え政権を支えた。
3. a. 最澄が著した『顯戒論』は、受戒を必須とする南都諸宗に対し、戒壇無用論を主張するものであり、清和天皇に支持された。
b. 三筆の一人として知られる橘逸勢は承和の変に連座して流罪となるが、この事件によって藤原北家の勢力が伸張した。
4. a. 9世紀には従来の課税方式の実施が困難になり、政府は大宰府管内に官田、畿内に公営田を置く直営方式をとった。
b. 11世紀後半になると、それまで貴族や寺社に認められていた田荘（たどころ）の給付が困難になり、それに代わって立荘が許されるようになった。
5. a. 源頼朝は後白河法皇に国ごとに国地頭の設置を認めさせ、翌年には、その権限を拡大した守護の設置を強行した。また荘園や郷にも武家としてはじめて地頭を設置した。
b. 北条時頼は摂家将軍を廃することになるが、これは幕府と後嵯峨上皇との対立が原因であり、名越氏や三浦氏の失脚の遠因ともなった。
6. a. 足利義満は土岐康行や山名氏清を討つに際し、彼らが南朝と結ぶことを防ぐため、両朝合体に尽力し、これを実現させた。
b. 足利持氏は将軍位を欲し、足利義教が発した討伐軍に滅ぼされたが、持氏の子の成氏は鎌倉公方の地位を受け継ぐことができた。

7. a. 豊臣秀吉は織田信長の経済政策を受け継ぎ、市場における特権的な立場を保持する座の解体を図り、金座・銀座・油座をはじめとする多くの座を解散させた。
b. 太閤検地では、荘園公領制にみられた錯綜した土地所有のあり方を整理し、一地一作人の原則により検地帳に生産者の名を記した。また一段を三百歩とした。

8. a. 参勤交代は、徳川家光による武家諸法度（寛永令）において制度化され、その後、享保の改革で一時的に緩和、文久の改革において再び緩和されるという変遷をたどった。
b. 江戸幕府の職制の最高職は大老であるが常置ではなかった。常置された老中の下には幕府直轄都市である大坂・二条（京都）・三宮（神戸）の城代が置かれた。

9. a. 人形浄瑠璃は、近松門左衛門の台本や竹本義太夫の語りによって盛んとなった。『曽根崎心中』は実際に起こった事件を題材にとった近松の代表的な世話物の一つである。
b. 松尾芭蕉はそれまでの俳諧のあり方を批判し、蕉風俳諧を確立したが、その作風は弟子の西山宗因らに受け継がれた。

10. a. 軍部大臣現役武官制は第2次山県有朋内閣で定められたが、第1次山本権兵衛内閣において現役規定が削除され、当時予備役であった上原勇作が陸軍大臣に就任した。
b. 立憲政友会総裁であった原敬は、組閣するに当たって陸軍・海軍大臣と外務大臣以外の閣僚をすべて政友会員から選び、本格的政党内閣を組織した。

〔Ⅱ〕 次の文章A・Bを読んで設問に答えなさい。もっとも適切な答えを一つマークしなさい。

- A. 鎌倉時代には各地で生産された物資を売買するための a 定期市が開催された。京都や奈良では b 天皇家や有力寺社に属した商人が特定の商品の買い付けや販売に関する特権を持つ座を結ぶこともあった。室町時代になると足利氏が八幡神を崇拜していたこともあって、八幡宮に仕える神人集団が台頭した。応仁の乱後には座商人や神人集団の商圏が縮小し、 c 新たに台頭した戦国大名や浄土真宗の勢力などにより経済の振興がはかられた。さらに、織豊政権になると d 寺社や公家と結びついて特権を持っていた座の多くは解散させられた。江戸時代には、様々な形態の商売が存在したが問屋や仲買が業種毎に同業者団体をつくって営業権の独占をはかり、のちに e それが公認されて力を持つようになった。

【設問】

1. 下線部 a に関して、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. はじめは都市を中心に月 6 回程度開催されるものが多かったが、のちに月 3 回程度の開催に集約された。
- イ. 領主に年貢として納入されるものは市で売買される商品から除かれ、一般に流通することはなかった。
- ウ. 市で商品を売却することで得られた貨幣は、年貢の銭納にも使われるようになった。
- エ. 特定の商品を扱う市としては、室町時代の太坂の魚市や淀の米場がある。

2. 下線部 b に関して、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 神人や供御人は平安時代後期から活動していたが、商品の生産や販売の独占が認められるようになったのは、戦国時代である。
- イ. 大山崎離宮八幡宮の神人に対抗し、石清水八幡宮の神人も油の製造・販売を行うようになったため、激しい競争が起こり、荏胡麻の買い付け価格が上昇した。
- ウ. 灯炉供御人は蔵人所を本所とし、関銭の納入の代償として広範な販売権を得た。
- エ. 麴や綿はそれぞれ北野社や祇園社の神人の称号を得た商人たちによって広く販売された。

3. 下線部 c に関して、誤っているものを下記より選びなさい。なお、すべて正しい場合は「エ」をマークしなさい。
- ア. 摂津の石山や河内の富田林といった町は浄土真宗の寺院を中心に構成されたが、これらの町の市はいずれも地域の商人の独占を前提としていた。
 - イ. 戦国大名は物資や人の流れを円滑にするために、領内の宿駅や伝馬の制度を整えた。
 - ウ. 戦国大名は鉱山開発にも力を入れた。甲斐の金山、但馬・石見の銀山はその代表である。
4. 下線部 d に関係する法令の条文として正しいものを下記より選びなさい。
- ア. 都て何国より出候何品にても、素人直売買勝手次第たるべく候
 - イ. 当所中樂市として仰せ付けらるるの上は、諸座・諸役・諸公事等、悉く免許の事
 - ウ. 家売たる人の方より、百文には三文ずつ、壱貫文には卅文ずつ、惣へ出すべきものなり、この旨を背く村人は座をぬくべきなり
 - エ. 是迄年々冥加上納金致し来り候処、問屋共不正の趣も相聞え候ニ付、以来上納ニ及ばず候
5. 下線部 e に関して、正しいものを下記より選びなさい。
- ア. 徳川吉宗は物価高騰の原因になるとして、株仲間の結成を禁止した。
 - イ. 田沼意次は冥加や運上といった営業税収入の増加を目指し、株仲間を広く公認した。
 - ウ. 松平定信は物価高騰の原因が株仲間の独占にあると考え、株仲間の解散を命じたが、逆にさらなる物価高騰を招いた。
 - エ. 特権商人の流通独占に対抗し、村々が広域に連合して訴願闘争（国訴）を展開したが、幕府はそれを違法なものとして厳しく取り締まった。

- B. 平安時代末から鎌倉・室町時代にかけて、f農具・農法の発達や g や h といった肥料使用の広まりなどにより、農産物の生産量が大きく増加した。江戸時代になると、大規模な i新田開発、jさらなる農具・農法の発達や金肥の利用など、農業のさらなる発展などがみられた。さらに k商品作物の栽培も盛んに行われ、三都や城下町のみならず在郷町の市場でも取引された。

【設問】

6. 下線部 f について、誤っているものを下記より選びなさい。
- ア. 鎌倉時代には、畿内や西国で二毛作が普及していた。
 - イ. 大唐米という多収穫の品種が国内で開発され、安定した農業経営が広く行われるようになった。
 - ウ. 室町時代になると、畿内では一部の地域で三毛作が行われるようになった。
 - エ. 室町時代には水車を用いた揚水が行われるようになった。
7. 空欄 g・h に入る語句の組合せとして正しいものを下記より選びなさい。
- ア. g：干鰯・h：刈敷 イ. g：下肥・h：油粕
 - ウ. g：草木灰・h：刈敷 エ. g：草木灰・h：糠
8. 下線部 i に関連して誤っているものを下記より選びなさい。なお、すべて正しい場合は「エ」をマークしなさい。
- ア. 箱根用水とは芦ノ湖の水をトンネルで富士山麓に引いたものである。
 - イ. 利根川から見沼代用水が分水され、新田が開発された。
 - ウ. 開発された新田の耕作者は、広大な田畠を経営する必要上、三世代が同居する大家族が多かった。
9. 下線部 j に関して、江戸時代になって普及したものとして正しいものを下記より選びなさい。
- ア. 灌漑具の踏車 イ. 早稲・中稲・晩稲といった品種
 - ウ. 粃選別具の千歯扱 エ. 脱穀具の唐箕
10. 下線部 k について、江戸時代の商品作物と代表的産地の組合せとして誤っているものを下記より選びなさい。
- ア. 紅花－出羽村山 イ. 荏胡麻－河内
 - ウ. 茶－駿河 エ. 漆－陸奥会津

〔Ⅲ〕 次の史料A・Bを読んで設問に答えなさい。もっとも適切な答えを一つマークしなさい。なお史料は省略したり、書き改めたところがあります。

A. ^a 去々年の兵乱以後、諸国の庄園郷保に補せらるる所の 、沙汰の条々
一 の事

右、宣旨の状の如くば、仮令、田畠各拾一町の内、十町は領家 の分、一丁は の分、広博狭小を嫌はず、此の率法を以て免給の上、加徴は段別に五升を充て行はるべしと云々。尤も以て神妙。但し此の中、本自將軍家の御下知を帯し、 たるの輩の跡、没収の職として、改補せらるる所々に於いては、 縦ひ減少すと雖も、今更加増の限りに非ず。是れ旧儀に依るべきの故なり。加之、 の中、本司の跡、 尋常の地に至っては、又以て成敗に及ばず。只 無き所々を勸注し、宣下の旨を守って計らひ充てしむべきなり。……

貞応二年七月六日
相模守殿

前陸奥守判

【設問】

1. 下線部 a の「兵乱」として正しいものを下記より選びなさい。

ア. 宝治合戦 イ. 保元・平治の乱 ウ. 承久の乱 エ. 霜月騒動

2. 空欄 b・d に入る語句の組合せとして正しいものを下記より選びなさい。

ア. b：地頭・d：国司 イ. b：国司・d：守護
ウ. b：地頭・d：守護 エ. b：国司・d：地頭

3. 空欄 c・e に入る語句の組合せとして正しいものを下記より選びなさい。

ア. c：年貢・e：本補 イ. c：得分・e：新補
ウ. c：得分・e：本補 エ. c：年貢・e：新補

4. 史料Aに記載されていることとして誤っているものを下記より選びなさい。

ア. 新たに定めた割合で b に給田を与え、加徴米として田畠一段につき 5 升を割り当て支給する。
イ. 没収された b の所領のあとに改めて別の b が任命された時、c が上記基準を下回ったとしても、不足分を補充しない。
ウ. e のうち、以前の荘官の c が適切であったか否かを問わず、e に定めた割合の c とする。
エ. c がなかった所領については調査を行い、宣旨の趣旨に従い c を定める。

9. 下線部 k が指す事件として正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 太平天国の乱 イ. 北清事変 ウ. 甲午農民戦争 エ. 辛亥革命

10. 史料Bが提示された以後に起きた出来事として正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 帝国国策遂行要領の決定
イ. 日ソ中立条約締結
ウ. 東条英機内閣成立
エ. 翼賛選挙の実施

〔Ⅳ〕 次の文章A・Bを読んで設問に答えなさい。もっとも適切な答えを一つマークしなさい。

A. 明治維新の後には、さまざまな分野で西洋文化の移植が試みられた。音楽では、まず軍隊（軍楽隊）で西洋音楽が取り入れられ、小学校教育でも洋風唱歌が採用された。その後、らによって東京音楽学校が設立され、西洋音楽の専門教育が始まった。大正時代になると、山田耕筰らによって、本格的な交響楽をめざす運動も始まった。

美術では、が開設されて西洋美術の導入がはかられ、やがて浅井忠や、黒田清輝らの洋画家が登場した。その一方、岡倉天心らは伝統美術を再評価し、日本画も新たな発展をみせた。20世紀になると、政府が主催する美術展覧会も開催されるようになった。

演劇の場合、明治維新後も歌舞伎が中心的位置を占め、壮士芝居から生まれたも西洋の近代演劇とは異質なものだ。しかし日露戦争後になると、坪内逍遙らのや、小山内薫らのが西洋近代劇を紹介してと呼ばれた。西洋近代劇をめざす運動は、その後もらのによって発展していった。

【設 問】

1. 空欄 a・b に該当する語句の組合せとして、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. a：伊沢修二・b：工部美術学校 イ. a：伊沢修二・b：東京美術学校
ウ. a：滝廉太郎・b：工部美術学校 エ. a：滝廉太郎・b：東京美術学校

2. 下線部 c・d に関する説明として、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 黒田清輝は、アメリカに留学して近代絵画の手法を学んだ。
イ. 日本に帰国した黒田清輝は、白馬会の設立に尽力した。
ウ. 岡倉天心は、ベルツとともに日本の伝統美術を調査し、伝統美術再評価の流れをつくった。
エ. 岡倉天心らにより設立された明治美術会では、日本画の振興を目的にしていた。

3. 下線部 e に関する説明として、誤っているものを下記より選びなさい。

- ア. 日露戦争の直前から開催されるようになった。
イ. 文部省が主催する、文部省美術展覧会（文展）として開催された。
ウ. 洋画・日本画・彫刻の三部門からなる総合展覧会だった。
エ. 第一次世界大戦後には、帝国美術院美術展覧会（帝展）となった。

4. 空欄 f・g・h・i に該当する語句の組合せとして、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. f：新劇・g：文芸協会・h：自由劇場・i：新派劇
- イ. f：新劇・g：自由劇場・h：文芸協会・i：新派劇
- ウ. f：新派劇・g：文芸協会・h：自由劇場・i：新劇
- エ. f：新派劇・g：自由劇場・h：文芸協会・i：新劇

5. 空欄 j・k に該当する語句の組合せとして、誤っているものを下記より選びなさい。

- ア. j：松井須磨子・k：芸術座
- イ. j：小山内薫・k：築地小劇場
- ウ. j：島村抱月・k：芸術座
- エ. j：川上音二郎・k：築地小劇場

B. 大正から昭和初期にかけての日本では、第一次世界大戦期の経済発展などを背景として、学術・文化の新たな展開がみられた。人文科学の領域では、 が日本の古代史研究を大きく前進させ、また民衆の日常生活に注目した は、民俗学という新たな学問を確立した。社会科学の領域では、 を著して反響を呼んだ河上肇が、マルクス主義経済学を紹介し、その後の社会科学に大きな影響を与えた。文学の領域では、大正期には白樺派や 新思潮派 が活躍したが、昭和期になると 新感覚派 とプロレタリア文学が大きな影響力を持つようになった。しかしこうした新たな学術・文化の動向は、1930年代における学問・思想に対する統制の強化とナショナリズムの台頭のなかで 圧迫され、次第に衰退していった。

【設問】

6. 空欄 l・m に該当する語句の組合せとして、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. l：西田幾多郎・m：和辻哲郎
- イ. l：西田幾多郎・m：柳田国男
- ウ. l：津田左右吉・m：和辻哲郎
- エ. l：津田左右吉・m：柳田国男

7. 空欄 n に該当する語句として正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 『貧乏物語』
- イ. 『雨月物語』
- ウ. 『日本資本主義発達史講座』
- エ. 『太陽のない街』

8. 下線部 o に属する人物として、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 武者小路実篤
- イ. 谷崎潤一郎
- ウ. 菊池寛
- エ. 永井荷風

9. 下線部 p に属する人物として、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 中里介山 イ. 徳永直 ウ. 横光利一 エ. 吉川英治

10. 下線部 q に関する説明として、誤っているものを下記より選びなさい。

- ア. 自由主義的な憲法学説を唱えていた滝川幸辰が、文部省により休職処分とされた。
イ. 美濃部達吉の天皇機関説が問題となり、政府は美濃部学説を否認する声明を発した。
ウ. 文部省が『国体の本義』を刊行し、学校・官庁に配布した。
エ. 人民戦線の結成をはかったとして、大内兵衛らが検挙された。